

こころが整う日本の滝 17巻

八雲 禰宜

『こころが整う日本の滝』は段ボール通販の【アースダンボール】を応援して
います。

滝はその美しさと、低体温によるトランス状態によって私たち日本人に古来から神様を魅せてきました。

本書は日本各地のパワースポットとして知られる滝をご紹介します、皆様の心を整えるための本です。

サウナの後の神社にも神様はいます。しかし、真のトトノイは実際に現地に赴き、滝に打たれる事で得られます。

そして『ありがとうございます』と生きとし生けるものへの感謝をつぶやく事で、あなたの全身に感動が訪れます。

さあ、この言葉たちを唱えましょう。

『自分を好きでいられること』

『自分を許すこと』

『人を好きでいられること』

『人を許すこと』

『今を生きること』

『明日死ぬかも知れない』

『世界の形は自分で変える』

『お金に価値はない』

『お招きいただき、ありがとうございます』

『ただ導かれる』

『ただ導かれる』

滝は答えてくれます。動物たちと共に生き、種と命を尊ぶ道を示してくれます。

滝を前にあなたは宇宙と一体化し、すべては自分である事を悟るのです。

茶釜の滝の場所は秋田県鹿角市のどこ?アクセスとガイドやツアー について



秋田県にある茶釜の滝。一体どんな滝なんですか?茶釜の滝までのアクセス方法や周辺のスポットやグルメを調べてみました。

茶釜の滝はどんな滝?

茶釜の滝は秋田県鹿角市八幡平地区にある滝です。米代川の支流夜明島川の上流「夜明島溪谷(よあけしまけいこく)」にあり、高さは100mと言われていて、日本の滝100選にも選ばれています。この茶釜の滝は日本の滝100選の中でも三大難攻滝の一つと言われています。ちなみに後の2つは双門大滝と御来光の滝と言われています。茶釜の滝は自然の厳しさの中、進んでいくと雄大な自然の美しさと幻想的な滝を観ることが出来、とても感動するということです。雪が降ると通行止めになるので、行くなら7月から11月頃がオススメで、単独での入山はやめておいた方が良いでしょうということでした。

茶釜の滝へのアクセスは？

茶釜の滝へのアクセス方法は川ルートと山ルートの2通りがあります。まず川ルート、夜明島溪谷の沢登りコースを紹介します。こちらは難易度は高いですが、山ルートに比べて時間は短く滝に到着することができます。こちらのコースは調べてみると、2013年の時点で通行止めになっており、その後の復旧状況を調べてみましたが分かりませんでした。もしこの川のルートに行く場合は鹿角市に問い合わせる必要があります。2つめの山ルートですが、こちらは難易度的には川コースよりも危険な箇所は少ないようですが、登山することになるのでそれなりの装備と準備が必要になります。

山ルートは国道341号線を南下し、曾利ノ滝の看板から約2kmのところにある大場谷地園地の駐車場から向かいます。この大場谷地は湿地帯のようになっていて、尾瀬のように植物が傷つかないように足場に板が貼ってあり、そこを500mくらい進んでいきます。そこから山の入り口に入り、進んでいきます。登りもくだりも結構キツく、道が分かりづらいところもあるので注意が必要です。熊も出没するというのでこちらでも対策が必要になります。1人で不安な方や、登山初心者の方はガイドを頼むかツアーに参加した方が良さそうです。過去にツアーが企画されていたことは確認できましたが、現在の時点では今年のツアーは組まれていないようでした。

ガイドを頼むには？

市役所に問い合わせる方法もありますが、自分で頼む場合は北東北山岳ガイド協会というところがあるのでそちらで頼む方法を紹介したいと思います。こちらのガイドは7月2日から8月31日の間で申し込むことができます。参加資格は高校生以上で日常生活で健康に不安がない人が対象です。だいたい6時間ほどかかり、1人のガイドにつき、4人まで参加することができます。料金についてはガイド1人3万円。こちらは詳しい持ち物もリストになっているので安心だと思います。

茶釜の滝周辺のおすすめスポットは？

まずは後生掛温泉です。こちらは地熱で身体を温めるオンドルというものがあることが最大の特徴で、オンドルの床にむしろを敷いて横たわると、暖かい地熱が身体の芯までほぐしてくれると有名な温泉です。また木箱に首だけを出して入る蒸し風呂も天然サウナのようでオススメです。神経痛や、リウマチ、婦人病、怪我の後遺症など、身体の冷えからくる諸病に効果があると言われていています。火山現象が間近にみられる自然研究路があるようですが、2017年9月の時点で通行止めになっているようです。

続いては八幡平です。こちらは火山地形に富んでいて、温泉が多く原生林と高層湿原に恵まれた高山植物の宝庫と言われています。樹氷原ではスキーを楽しむこともできます。そし

て特にオススメが紅葉です。これからの季節、とても綺麗で一生に一度は観ておきたい紅葉だととても評判がよかったです。ただ、こちらの八幡平は霧が掛かる日が多いそうで、また霧がかかると天気が回復しにくいということだったので、訊ねる前に天気チェックは必須のようです。茶釜の滝周辺は温泉が多いようで、紹介した温泉以外にも銭川温泉、八幡平温泉郷、蒸ノ湯温泉などもありました。日帰り温泉もあるので、滝を観た後は温泉で疲れを取るのもいいと思います。

茶釜の滝周辺のおすすめグルメは？

まずは後生掛温泉の近くにあるしゃくなげ茶屋です。こちらはお店の周り四方八方が色とりどりのしゃくなげに囲まれているお店です。名物は温泉で作った黒たまごです。温泉成分が含まれていて、殻が真っ黒な温泉卵で、これがとても美味しいと沢山の人の口コミがありました。

続いては幸楽ホルモンという鹿角ホルモンがオススメのお店です。こちらは豚ホルモンをジンギスカン鍋で焼いて食べるという独特のスタイルで、ニンニクと唐辛子ベースのタレに漬けた豚ホルモンに大きめに切ったキャベツを沢山乗せて焼き上げます。やみつきになる美味しさでリピーターも多く、鹿角市の B 級グルメの代表格と言われています。とっても美味しそうでした！茶釜の滝は初心者が訊ねるには少し難易度の高い滝ですが、滝好きな方は是非行ってみたい滝です。訪れる際は気を付けて行ってください！

華巖の滝

栃木県にある、日本の三大名瀑の一つとされている華巖の滝。一体どんな滝なのでしょう？周辺のスポットやグルメ、開催されるイベントについてなど調べてみました。

華巖の滝はどんな滝？

華巖の滝（けごんのたき）は栃木県日光市にある滝で、発見者は勝道上人というお坊さんだと伝えられています。仏教經典の1つである華巖経から名付けられたと言われています。華巖溪谷周辺には他に阿含滝、方等滝、般若滝、涅槃滝もあることから五時の教判からそれらと同様に命名されたものと考えられているそうです。日航には四十八滝といわれるくらい滝が多いのですが、この華巖の滝が最も有名な滝として知られています。中禅寺湖の水が高さ97mも岸壁を一気に落下する壮大な滝で、自然が創り出す雄大さと、華麗な造形美の両方を楽しむことができます。5月には見事な新緑、6月にはたくさんのイワツバメが滝周辺を飛び回り、1月から2月にかけては十二滝と呼ばれる細い小滝が凍るため、四季折々の違った景色を堪能することができます。

※華巖の滝へのアクセス方法は？

JR 東武日光駅より、東武バス中善寺温泉行きに乗車し40分、「中善寺温泉」バス停下車後、徒歩5分です。車の場合は東北自動車道日光ICから日光宇都宮道路へ、清滝ICから15kmです。華巖の滝は有料のエレベーターに乗車し、観瀑台へ向かいます。エレベーターは往復大人550円、小学生330円。営業時間は3月から11月までは午前8時から午後5時まで、12月から2月までは午前9時から午後4時半までになっています。

ただし、季節や気象状況によって時間の変更がある場合があります。

華巖の滝はパワースポット？

華巖の滝を調べていると、パワースポットとして知られているということが分かりました。この滝では滝の作る特殊な磁場によって体中にパワーが巡り、身体の中に溜まった邪気を飛ばしてくれるそうです。金運アップのスポットとしても知られているということでした。しかし、一方で、華巖の滝は日本でもトップクラスの心霊スポットとしても知られているそうです。今から約100年ほど前に、エリート学生だったという男性が「巖頭の感」という遺文を残して滝で投身自殺をしてしまいました。滝近くの大木の幹をナイフで削って書いたそうです。エリートだった学生の衝撃的な死は大きく取り上げられ、大きな影響をあたえ、後追い自殺する人が続出してしまったそうです。現在ではそういったことはありませんが、彼の死後4年間で185名もの人が自殺しています。そんなスポットなので、面白半分写真を撮ると心霊写真が撮れると噂されています。少し怖いですが、観光地としてもとても有名なスポットなので、普通の人は特に気にする必要はないと思います。

※華厳の滝周辺のオススメスポットは？

まずは日本百景にも選ばれている中禅寺湖です。中禅寺湖から見える景色は絶景スポットとして人気があり、北には男体山、北西には戦場ヶ原が広がり、ボートやキャンプ場などの施設が利用できたり、定期的に遊覧船に乗ることもできます。鮎や鱒の塩焼きなどのグルメもあり、平地よりも涼しいので過ごしやすく、散策路があるのでゆったりと観光を楽しむことができます。

続いては中禅寺湖からも近い、イタリア大使館別荘記念公園です。こちらは国際避暑地の歴史とのふれあいが楽しめる公園で、室内からの景色は最高です。喫茶も楽しめるということなので、是非立ち寄ってみたいスポットです。

続いては、日光オルゴール館です。こちらは華厳の滝の向かいにある施設で、陶器やガラスなどさまざまなオルゴールお薄目は販売や、トトログッズのコーナーなどもあります。オススメはオルゴール制作体験で、約100曲と3種類の台から好きな組み合わせを選び、人形や花を飾って40分ほどで完成させることが出来ます。家族連れやカップルでも楽しめると思います。

華厳の滝周辺のオススメグルメは？

まずはコーヒーハウスユーコンです。こちらは中禅寺湖のほとりにあるログハウス風のカフェです。チキンカレーやビーフカレー、100年ライスカレーなどがオススメで、ほかにもクロワッサンサンドも人気のメニューです。

続いては華厳の滝のすぐ近くにある滝というお店です。こちらは湯葉料理や、そばうどんのお店で、生ゆばスープ丼や生ゆばグリーンカレー、生ゆば麻婆麺など変わったメニューもあります。普通のうどんやそばも出汁がきいていてとても美味しいという口コミがありました。

続いては菱屋・華厳です。こちらはとても大きなお土産屋さんです。滝に行った記念にお土産を買ったり、お菓子なども販売されているので立ち寄っておきたいお店だと思います。

華厳の滝周辺で開催されるイベントは？

まずは2018年1月4日に開催される武射祭です。二荒山神と群馬県の赤城山神が争ったという伝説に由来する祭りです。極寒の中、神官とかみしも姿の射手が赤城山に向かって矢を放ち、射手と参列者が「ヤアー」と声を張り上げるそうです。放たれた矢を拾って札所に出すと災難除けのお守りを無料で付けてもらえるそうです。

つづいては華嚴の滝の紅葉です。特にイベントが開かれるわけではありませんが、日本の三大名瀑と称される滝が紅葉に包まれます。紅葉のピークは10月中旬頃とされています。

袋田の滝

茨城県にある袋田の滝。一体どんな滝なんですか？オススメの季節や周辺のスポット、グルメ、開催されるイベントなどを調べてみました。

袋田の滝はどんな滝？

袋田の滝（ふくろだのたき）は茨城県久慈郡大子町袋田にある滝で、久慈川支流の滝川上流にあたり、長さ120m、幅が73mです。日本の名勝に指定されていて、茨城県北ジオパークのジオサイトの1つでもあります。華厳滝、那智滝とともに日本三大名瀑の一つに挙げられることもあり、日本の滝100選にも選ばれています。1990年に行われた日本の滝100選の人気投票では1位を獲得したこともあります。奥久慈県立自然公園に指定されていますが、他の三大名瀑の滝と違い、国立公園や国定公園には指定されていないそうです。江戸時代には水戸藩の領地内だったので水戸黄門として知られている徳川光圀が訪れたとも言われています。

この袋田の滝は別名、「四度の滝」とも言われています。これは滝川が4段に岩肌を落ちることから名付けられたと言う説と、昔この地を訪れた西行が「この滝は四季に一度ずつ来てみなければ真の風趣は味わえない」と絶賛したと伝えられていることから名付けられたという説があります。

袋田の滝へのアクセス方法は？

JR水郡線袋田駅から茨城交通バスで滝本（袋田の滝）行で終点下車。JR水郡線常陸大子駅から大子町観光シャトルバスで終点下車（こちらは土日休日及び観光シーズンのみの運行です。）車の場合は、常磐自動車道的那珂ICから国道118号、県道324号で約42kmです。駐車場は有料駐車場があります。滝の観賞ですが、正面から滝の全景を観賞するためには「袋田の滝 館瀑トンネル」を通過して第一、第二観瀑台へ行きます。

入場料は大人300円、中学生以下は150円です。11月13日の茨城県民の日のみ無料となります。トンネルは無休ですが、営業時間が5月から10月までは午前8時から午後6時まで、11月から4月までは午前8時半から午後5時までとなっています。ライトアップ期間があり、だいたい例年11月上旬頃から1月下旬頃の金、土、日、祝日と年末年始に日没から午後8時までライトアップされます。年末年始は日没から翌午前2時までライトアップされるそうです。第二観瀑台は第三デッキまであり、第三デッキからは最上段を含めて滝の全景を見ることができます。また、この有料の観瀑台を利用しない場合でも滝側面やこの滝側面を登って月居山へ続くハイキングコースから滝の一部を見ることができます。このハイキングコースからは滝の縁を上流側から眺めることも出来ます。

袋田の滝の四季の変化

まずは春です。春は氷壁が溶け出して滝川のせせらぎが音を立てて流れだすと春の訪れです。新芽の芽吹く木々の緑と清らかな水音が織りなすハーモニーが楽しめます。

次は夏です。夏はキラキラと陽の光を浴びてダイナミックに踊る水しぶき、その勢いで虹が見られることがあります。

続いて秋は、色とりどりの紅葉が渓谷を飾り、滝は鮮やかにドレスアップしたようです。自然の豪華な風景画のようでとても素晴らしい景色を楽しめます。

最後に冬です。冬が滝の水が凍結し、とても神秘的な美しさを楽しめます。四季によっていろいろな表情を楽しめる袋田の滝。一度だけで無く何度も訪れてみたい滝ですね。

袋田の滝周辺のスポットは？

まずは自然豊かで東京近郊の癒やしスポットとも言われている袋田温泉です。ここでは6月になるとホテルの乱舞が見られると有名で、こじんまりした温泉街ですが、ゆったりとした時間を過ごすことができます。いくつかの温泉宿があるので宿泊もできます。

続いては通称「もみじ寺」と呼ばれている永源寺です。こちらは名前の通り秋になると境内を埋め尽くすほどのもみじが訪れる人の目を楽しませます。紅葉の季節はもちろんですが、他の季節も訪れたい場所です。

続いてはリンゴ狩りです。こちらはいろいろな品種のりんごを食べ比べることができ、お土産にもなるのでとてもオススメです。家族連れでも楽しめるスポットなのでりんごの季節になるとおすすめです。

袋田の滝周辺のオススメグルメは？

まずは奥久慈しゃも生産組合です。こちらは奥久慈しゃもの直売を行っています。奥久慈しゃもは青物を十分与えてストレスが溜まらないよう放し飼いにしています。なので脂肪分が少なく、肉に締まりがあり、骨で作るスープはコクがあり格別な味を田の示す。つづいては道の駅奥久慈だいがごです。こちらは茨城の特産物がいろいろ販売されていて、お土産を買うのもオススメです。奥久慈は夏は桃、秋冬はリンゴが美味しいのでそちらを購入すると思います。桃のソフトクリームがとても美味しい！と口コミがありました。是非立ち寄った際は味わってみたいですね。

袋田の滝周辺のイベントは？

まずはごぜんやまつりです。御前山支所敷地内に特設ステージが設置され、たくさんの模擬店が並び、地元の団体によるステージでの芸能発表や、人気のご当地キャラクター、イバライガーショーなど家族揃って楽しめるイベントが行われます。

つづいては日立シビックセンター新都市広場を中心に開催されるイルミネーションです。いろいろなテーマを表現した光が鮮やかに広場を彩ります。こちらは11月18日から12月26日まで開催されます。

滝はその美しさと、低体温によるトランス状態によって私たち日本人に古来から神様を魅せてきました。

本書は日本各地のパワースポットとして知られる滝をご紹介します、皆様の心を整えるための本です。

サウナの後の神社にも神様はいます。しかし、真のトトノイは実際に現地に赴き、滝に打たれる事で得られます。

そして『ありがとうございます』と生きとし生けるものへの感謝をつぶやく事で、あなたの全身に感動が訪れます。

さあ、この言葉たちを唱えましょう。

『自分を好きでいられること』

『自分を許すこと』

『人を好きでいられること』

『人を許すこと』

『今を生きること』

『明日死ぬかも知れない』

『世界の形は自分で変える』

『お金に価値はない』

『お招きいただき、ありがとうございます』

『ただ導かれる』

『ただ導かれる』

滝は答えてくれます。動物たちと共に生き、種と命を尊ぶ道を示してくれます。

滝を前にあなたは宇宙と一体化し、すべては自分である事を悟るのです。